

平成22年度 環境保全活動報告書



KSK 湖国精工株式会社

<http://www.kokokuseiko.co.jp>

環境方針

環境理念

湖国精工株式会社は、軸受産業等をサポートする機械設備メーカーとして、地球環境の保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、併せて琵琶湖と共生する企業として、その恵みを未来に引き継ぐために、常に環境に配慮して事業活動を行う。

行動指針

我々は、環境問題への取り組みが我々の存在と活動に必須の要件と認識し、積極的に行動する。

- 1. 事業活動にかかる環境側面を常に認識し、環境目的・目標を設定、見直し、環境活動を通じて継続的に環境汚染の予防を推進する。
- 2. 環境側面に関係した法規制、条例及び地域との協定等を遵守し、継続して環境保全に努める。
- 3. 環境負荷を軽減させるため、次の環境テーマについて目的及び目標を明確にして取り組む。
 - (1) 地球温暖化の防止
 - (2) 廃棄物の削減
 - (3) 琵琶湖の汚染防止
 - (4) 環境に関する地域社会への貢献
- 4. 環境管理の組織・運営制度を整備し、マネージメントレビュー等を通じて環境方針を含む環境マネージメントシステムの適切性・妥当性・有効性を継続的に改善する。
- 5. 環境方針は文書化し環境教育、啓発活動を通じて全従業員に周知させるとともに、環境に関する意識の向上を図る。
- 6. 環境管理の実施状況は必要に応じて公開する。

環境保全の歩みと取り組み

平成13年2月26日、大津市と[環境保全協定書]を締結する。

(目的)

次の世代により良い環境を引き継いでいくために、大津市・市民・事業者がそれぞれの役割と責任を認識し、快適で環境への負荷の少ない持続可能な街づくりに、自主的・主体的に行動するとともに協働して取り組むことが求められている。

(活動の推進)

事業者は実施可能な範囲で自主的・主体的に環境保全に係る目標等を設けて環境への負荷の低減、資源の循環及びエネルギーの効率化、その他環境保全に係る活動を実施するものとする。

(環境管理体制の整備・充実)

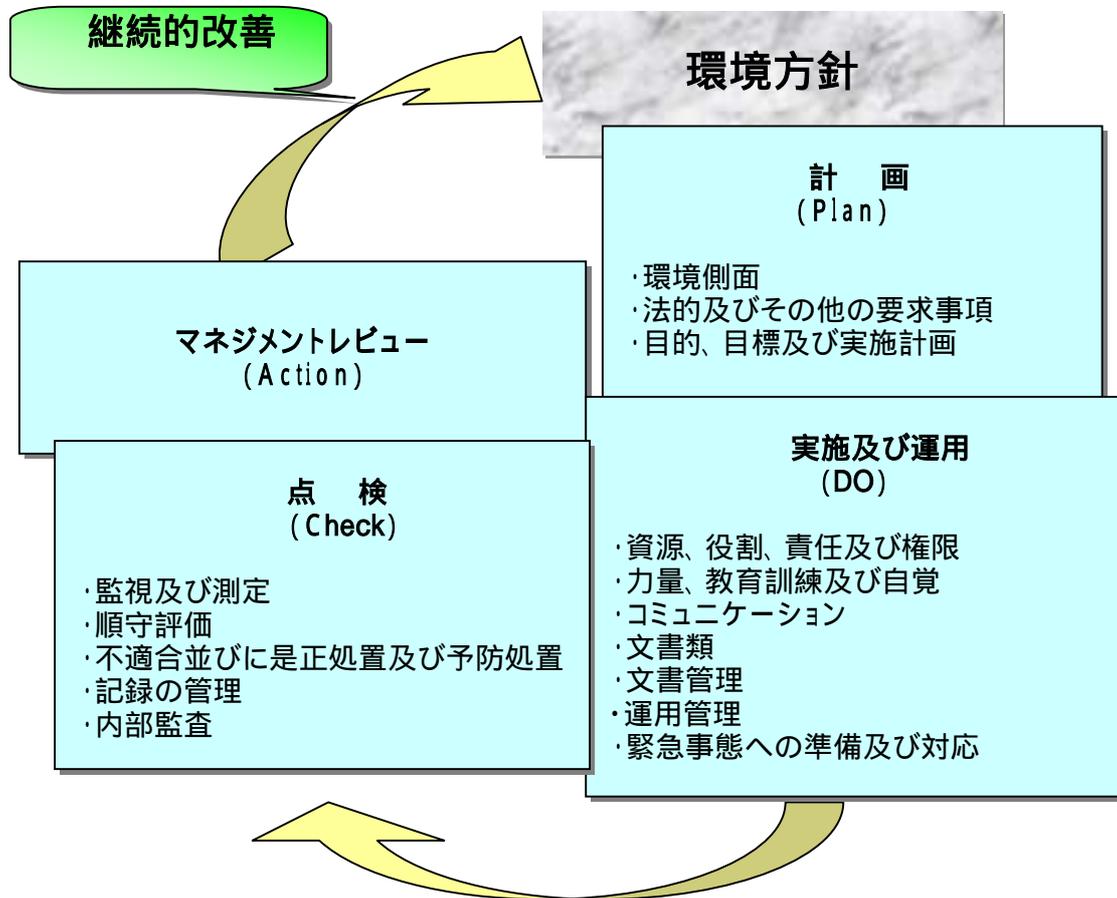
環境保全活動を継続して推進するため、必要な組織を整備し、環境保全に関する方針及び目標を定め、その実施状況を点検しなければならない。

また、環境管理体制はISO14001に沿ったマネージメントシステムの構築また、市の定める手引きに従う整備により行うものとする。

(報告)

環境保全活動の実施状況について取りまとめ、原則として毎年1回、市に報告する。昨年に引き続き、平成22年度の報告を致します。

～ P・D・C・Aサイクルによる、継続的改善の管理システム～



P-D-C-Aのサイクルで構成されているシステムで、このシステムを運用することにより継続的改善を目指す。

汚染の予防と環境関連法規制の遵守が要求されており、これに対するシステム構築と運用を行なう。

環境方針及び目的・目標を定め、体系的な改善を行うために環境影響の原因である環境側面を抽出し、これの管理・改善を行う。環境影響を出してから対策するのではなく、発生源の管理・改善を目指している。

環境影響の著しいものを取上げ、重点的に管理・改善を行う。

あらゆる組織に適用できるシステムで、システム導入は組織の自主的な活動により行なわれ、トップの方針に基づき、全員参加で環境負荷を低減するシステムである。

環境目的・目標 実施計画

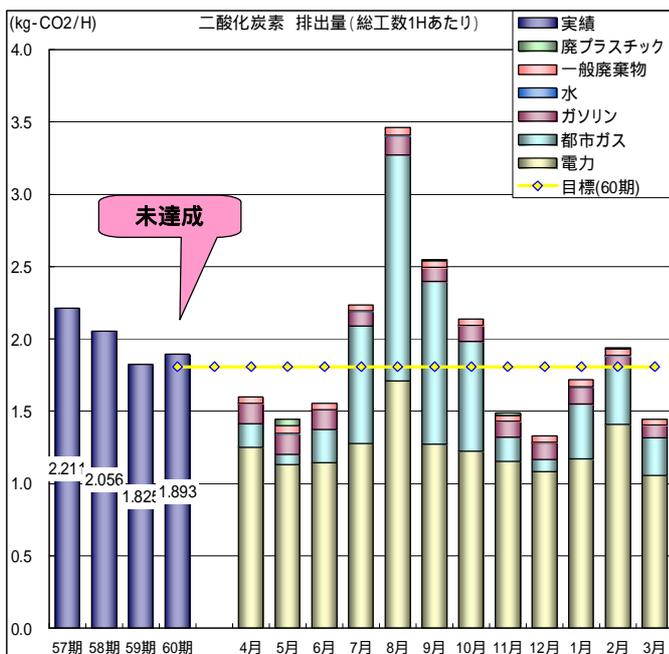
テーマ(環境方針)	著しい環境側面・法的その他の要求事項		管理項目	目標(60期)		実績	単位
地球温暖化の防止	電力の使用	定	二酸化炭素の排出量	前年比 1%削減	1.807	1.893	kg-CO ₂ /H
	都市ガスの使用	定					
	コピー用紙の使用	定	コピー用紙の購入量	前年比 1%削減	0.893	0.833	kg/ 百万円
	電線の使用	定	電線の購入量	維持	0.225	0.393	kg/ 百万円
	有機溶剤の使用	定	有機溶剤の購入量	維持	1.015	0.701	kg/ 百万円
	潤滑油の使用	定	潤滑油の購入量	維持	0.593	0.404	L/ 百万円
	自主活動		営業車の燃費	前年比 1%向上	10.447	10.054	km/L
廃棄物の削減	金属クズの排出	定	金属クズの排出量	前年比 1%削減	11.205	7.877	kg/ 百万円
	廃油の排出	定	廃油の排出量	維持	1,648	2,268	kg/月
	自主活動		リユース製品の受注金額	10%向上	12,000	26,315	千円/月
琵琶湖の汚染防止	自主活動		上下水道の水質	維持		別紙	-
環境に関する地域社会への貢献	騒音の発生	定	騒音	維持	60	62	dB
	振動の発生	定	振動	維持	30	30	dB
	悪臭の発生	緊	悪臭	クレームゼロ継続		ゼロ	-
	自主活動		地域活動	維持	2	1	回/年
その他の取り組み	自主活動		セル活動	維持	1	0.99	回/月・セル
			提案活動	維持 2	114	148.7	件/月

リーマンショックを受けた稼働3日/週をはじめとする操業短縮から、反動的な急回復傾向となり、受注的には戻りだした年。フル稼働で短納期対応を進め、生き抜くために何をすべきかを考え、実行してきた年。

今後は、勝ち抜くために、ひとり一人の協力を一層得ながらも、ひとり一人も変化してもらわなければならない。

確かなものづくりをつづけていくために…。

テーマ(環境方針)	著しい環境側面・法的その他の要求事項		管理項目	目標(60期)		実績	単位	評価	コメント
地球温暖化の防止	電力の使用	定	二酸化炭素の排出量	前年比1%削減	1.807	1.893	kg-CO ₂ /H	×	前年比1%減の目標は未達 58期比2%減は達成
	都市ガスの使用	定							
	コピー用紙の使用	定	コピー用紙の購入量	前年比1%削減	0.893	0.833	kg/百万円		-
	電線の使用	定	電線の購入量	維持	0.225	0.393	kg/百万円	×	
	有機溶剤の使用	定	有機溶剤の購入量	維持	1.015	0.701	kg/百万円		-
	潤滑油の使用	定	潤滑油の購入量	維持	0.593	0.404	L/百万円		
	自主活動		営業車の燃費	前年比1%向上	10.447	10.054	km/L	×	前年比1%向上の目標は未達 58期比2%向上は達成



【二酸化炭素排出量の推移】

3ヶ年計画の一区切りの年。

大きな目標を掲げても大変であるものの、小さすぎても改善が進まないことを実感する年でもあった。

目標 1.807kg-CO₂/H

実績 1.893kg-CO₂/H

3年3%削減の目標は達成できたが、単年度では未達となった。

1)電力・ガスの使用量

受注減から一気に回復傾向の中、稼働時間が増加。目標値には届かなかったが、3年計画の目標値に対しては延べ2%向上した。

2)コピー用紙の購入量

裏紙使用・両面印刷・FAXの電子受信・社内配布資料削減・ISO文書の電子化など日常業務でのムダ削減を継続しながら回復傾向の中、継続して購買監視も努めた

前年実績	228,500 枚/年
計画	518,400 枚/年
実績	413,000 枚/年

3)燃費向上

社有車11台のエコドライブ活動

計画	10.447 km/L
実績	10.054 km/L

前年とは違い、急激な回復の中、短納期対応で距離に比例せず使用頻度が上昇。僅かに及ばず。

eco通信 発行日: 2011/7/20 発行元: ISO事務局

11年4月号

二酸化炭素 排出量

環境に関するニュース

【2011年度環境目標】

二酸化炭素の排出量	431.46	kg-CO ₂ /H	↓
コピー用紙の購入量	1.233	kg	↓
電線の購入量	0.225	kg/百万円(売上)	↓
有機溶剤の購入量	1.293.5	kg	↓
潤滑油の購入量	1.262	kg/百万円(売上)	↓
11年4月期平均燃費	26.250	km/月(平均燃費)	↓
11年4月期平均燃費	12.467	km/月	↓

その他のニュース

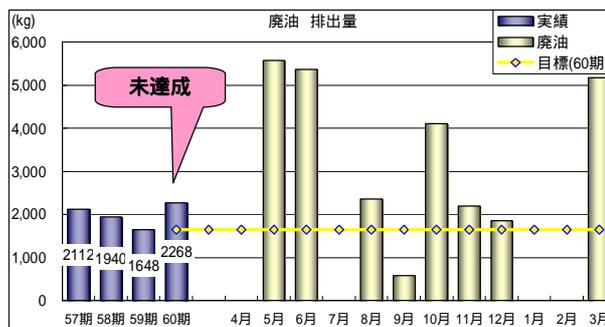
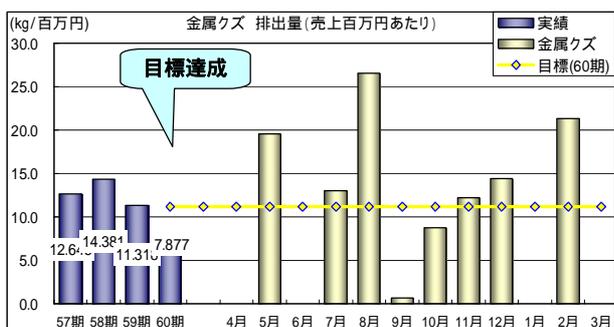
中部電力、浜岡原発(静岡県)の運転停止要請

『環境eco通信』

環境に関する社内報を作成し、周知。特に社内取組みや世間一般のトピックスを掲載するよう心掛けている。

不定期から定期発行へ取組み、年4回を発行した。

テーマ(環境方針)	著しい環境側面・法的その他の要求事項		管理項目	目標(60期)		実績	単位	評価	コメント
	金属クズの排出	定		金属クズの排出量	前年比1%削減				
廃棄物の削減	金属クズの排出	定	金属クズの排出量	前年比1%削減	11,205	7,877	kg/百万円		-
	廃油の排出	定	廃油の排出量	維持	1,648	2,268	kg/月	×	社内の仕事量により増減 次年度の目標値を見直し
	自主活動		リユース製品の受注金額	10%向上	12,000	26,315	千円/月		-



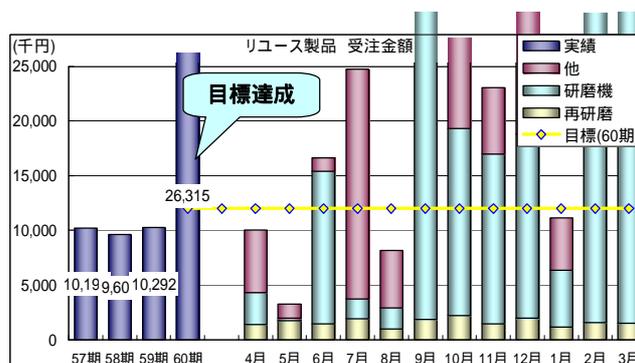
4) 金属クズの排出量・廃油の排出量

有価物としてだけでなく、排出そのものを減じるために在庫・調達管理の徹底・不良削減等に取り組んでいる。受注増に伴い、マシニングセンターなどの含油廃水が増加し、目標未達となった。

5) リユース製品の受注

客先で使用されている専用機をオーバーホールすることや消耗工具類を再研磨することで、新規製作に係る部品や材料などを抑えることができ、技術を活かしながら環境負荷低減に貢献できる。

急激な受注回復を受け、各種専用機のオーバーホールなど大きな弾みがつき、目標値の2倍程度となった。



テーマ(環境方針)	著しい環境側面・法的その他の要求事項	管理項目	目標(60期)	実績	単位	評価	コメント
琵琶湖の汚染防止	自主活動	上下水道の水質	維持	別紙	-		-

6) 上下水道の水質

一級河川「盛越川」へ隣接しているため、水質の定期監視を継続している。
年に1度測定を実施し、大津市基準24項目で異常なし

* ISO認証状況 *

平成23年5月18日、19日

今回より『複合審査』へトライ…環境・品質…一体化・更なる効率UPを目指して

平成22年度における環境活動について審査を受け、
改善の余地 環境3件・品質2件を指導いただき、是正処置は特にありませんでした。

* 内部監査方式の見直し *

主任監査員と被監査部署との調整で日程計画をしていたが、

『監査の日』というように監査員と日程を集中方式にした。

…環境2日・品質2日間に集約

同時に学習の場と捉え、若年層管理監督職の参画を増員
集中方式で全部門を見渡すため、監査準備と監査自体を通して
習熟度を上げ、理解を深める。